

花火大会復活へ

赤平への想い：未来の子ども達へ

◆来夏、10年ぶりに花火大会が復活しますが、その経緯を教えてください。

竹島会長 「みんなで力を合わせて赤平を元気にしよう」という想いから、子ども達が楽しみにできるイベントとして、観光協会の中で花火大会を復活させようという話があり企画しました。赤平に住む子ども達に地元で花火を見せてあげたい。PRしたところ市民の皆さんの反応もとても良く、応援してくれています。

◆花火大会応援基金事業として、火まつり会場で手ぬぐい・うちわの販売、募金箱の設置をしましたね。

竹島会長 多くの方が、手ぬぐい・うちわを買ってくれました。募金箱にもたくさんの募金をいただき、市民みんなで上げる花火大会という雰囲気になつてきました。昔は5万人いた人口も減ってきて、マチが寂しくなりましたが、市民みんなで上げる花火はより美しくなると思います。

◆応援基金事業の第2弾としてお笑いライブを開催すること

赤平市民の“想い”で上げる花火…

美しい花火が夜空に上がりますよ！

来夏、10年ぶりに復活する花火大会。赤平のイベントの歴史を知る赤平観光協会 竹島会長にイベントへの熱い想いを語っていただきました。

については。

竹島会長 始めは大きいイベントなので企画がうまくいくか心配しましたが、なんとか開催までこぎつけることができました。楽しみながら、笑いの中で花火大会が実現できるのは素晴らしいこと。市民の方も賑やかでいいと喜んでくれています。

◆最後に市民の皆さんへメッセージを：

竹島会長 お笑い芸人さんから元気をもらって、来年の花火大会を盛大に開催し、それを見た子ども達が将来、さらに楽しいイベントを企画してくれたらいいですね。赤平の人はいい人ばかり。みんなで花火大会を成功させましょう！

赤平観光協会
会長 竹島 緋出雄氏



Sangyo-Fes-Shot



農 商 工 連 携

New EVENT
連 第1回赤平 携

産 業
フェスティバル

10月16日(土)

赤平駅前広場・交流センターみらい

農・商・工連携による“ものづくりのマチ・赤平”の新たなイベント「第1回赤平産業フェスティバル」が10月16日(土)赤平駅前広場・交流センターみらいを会場に開催されました。前日からの雨で天候が心配されましたが、爽やかな秋晴れのもと多くの市民が参加し、メイドイン赤平の製品クオリティや製造技術の高さ、また赤平産のお米やそば、野菜などのおいしさを再発見しました。

もちまきやもちつき、司会の加我正源さんのお笑いライブ、テレビ朝日コメンテーター三反園訓氏の講演会、福引き、大抽選会などのイベントも大盛況でした。